

キャラクター名
淵上 深望

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル		ワークス	研究者	カヴァー	なんでも屋
	エグザイル					
オプション			年齢	31	性別	男
覚醒	探求	衝動	飢餓	初期侵食率	28	%
出自	資産家	経験	成り上がり	邂逅	幼子	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	4	0	0			4	行動値	5
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	5
精神	0	1	0			1	戦闘移動	10
社会	2	0	0			2	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志		2	調達	1	
運転:			芸術:			知識:	4		情報: 学問	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
骨の剣		-1	6	5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
	0	0			

所持品	
思い出の一品	
コネ:UGN	
顔の部分が焼け焦げた身分証明書	
財布	
携帯	
鏡	
手帳	
金	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
テレーズ・ブルム	P 尊敬	N 嫉妬		
黒瀬 透也	P 親近感	N 無関心		
ネームレス	P 有為	N 猜疑心		
幸神 鷲人	P 連帯感	N 隔意		
永見 孝三	P 好奇心	N 無関心		
薄氷 篤	P 好奇心	N 憐憫		
千木良 昭二	P 連帯感	N 侮蔑		

最大財産P: 6 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
C:エグザイル	2	2						
効果:								
がらんどうの肉体	3	3	メジャー	至近	単体	白兵		
効果:	受ける予定のダメージを-LVDする							
骨の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動		
効果:	素手のデータ変更							
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	単体	自動		
効果:	行動消費せずカバリング							
デビルストリングス	2	6	オート	視界	単体	自動		
効果:	オートアクションを失敗にする シナリオLV回							
伸縮腕	1	2	メジャー	視界		白兵		
効果:	攻撃の射程視界 ダイス-(3-LV)							
貪欲なる拳	3	3						
効果:	ダイス数+(1+LV)							
スプリングシールド	2	10						
効果:	ガード値+10 1シーンLV回							
鍵いらすの歩み	★	0						
効果:	狭いところ入れる							
生体侵入	★	4						
効果:	他者の体内に入り込む、隠密状態になる							
異能の指先	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ふちがみ みなも
「私は誰なのか、私とは何だったのか、君は何か知っているかな。」
裕福な家庭で生まれ育ち十分な教育を受け成人後研究者としての道を選んだ。決して才能に恵まれたわけではなかったがその目的に対する強い執着心と研究に対する狂信的なまでの努力によってその功績が評価されていた。のちにUGNと協力関係の元レネゲイドウイルスとオーヴァードの存在を知りより強力な能力発現の研究を行っていた。その非道な研究内容などは時に非難され、当時一時的に同僚でもあったテレーズブルムと口論にもなっている。しかし彼は研究のさなか実験段階の事故（一部ではFHのスパイによる破壊工作ともいわれている）によって高濃度のレネゲイドウイルスを体中に浴びてしまう。結果エグザイルのピュアブリードのオーヴァードとして覚醒したがその際に全身の細胞が急激に変化したため外見の急激な変化と記憶の混濁が起きてしまった。自分の名前と決して失いたくはなかった血の努力をもってして手に入れた知識以外のほとんどの記憶を失った。彼の行っていた研究はその非道さや事故によって存在そのものを秘匿されてしまい。彼も死亡扱いとされたため自分の戻る場所はなくなくなった。彼は自分が何者であったかの記憶を求めその力を使う。現在ギルドの協力の元なんでも屋として生計を立てている。直接の強力な戦闘はできないが時間稼ぎ、潜入の難しい場所への情報収集、変装など様々な仕事を請け負っている。

能力
エグザイルのピュアブリードとして最高レベルの形状変化能力を有しており自らの体を遺伝子レベルで変化させることができる。顔や外見の変化はもちろん、液状化し無機物と部分的に融合することで身の回りの物を利用し戦うことも可能である。その気になれば他人に細胞レベルで浸透し他人の細胞を破壊することすら可能。しかし直接的な攻撃力では見劣りし、直接の戦闘には不向きである。

戦闘スタイル
戦闘が始まると極力人間の姿でいることはなく、体の一部もしくはすべてを液状もしくは軟体状にして地面や壁に隠しながら戦う。また壁や地面と同化した場合に応じて壁になったりそれらを投げつけたりすることで攻撃する。また自分の体の一部を相手に同化させることで細胞レベルで対象を破壊することもある。その存在が悟られず関わった相手に悠久の恐怖を与えることから無貌恐怖症と呼ばれるに至った（自らが自分の正体を求めている部分からも来ている）。

外見
特定の自分の顔がわからないため普段はアルビノをほうふつとさせる白い肌と黒い目をもつ骸骨のような面になっている。仕事中は適当な顔を作っていることもある性格